

# 南風でお茶しましょう—憩いの場活動—

当施設の利用者に、普段の雰囲気とは違う環境で楽しんでもらいたいという思いから、施設内に喫茶コーナーを設けた。週2回（月・木曜）、10時～12時までで行っており、1日平均30名前後の方が利用している。利用者からは好評を得ており、施設と地域住民との交流の場となっている。

社会福祉法人 **ほなみ会**

〒432-8064 静岡県浜松市南区倉松町593  
TEL：053-449-8101 / FAX：053-449-8105

## 【法人の概要】

法人設立年：平成14年8月  
経営施設、事業（数）：1施設 5事業  
経営施設、事業（種別）：  
特別養護老人ホーム…1 / 居宅介護支援事業…  
1 / デイサービス…1 / ホームヘルプサービス…  
1 / ショートステイ…1

## 【法人の理念・経営方針】

- ・お年寄りが満足し、安心して暮らせることをめざします。
- ・ご家族の悩みを受け止め援助します。
- ・職員を信頼し、一人ひとりが成長できるよう支援します。
- ・すべての関係者をパートナーとして見なし、長期的な信頼関係を築きます。
- ・たえず問題を明らかにし、その解決をとおしてサービスの向上をはかります。
- ・固定観念にとらわれることなく学習しつづける組織を作ります。
- ・介護福祉サービスをとおして地域社会に貢献します。

## 実施施設の概要

施設名：南風  
施設種別：特別養護老人ホーム  
活動開始年：平成15年6月  
活動の頻度・時間：月8回、1回あたり2時間  
活動の対象者：施設入居者、デイサービス・ショートステイ利用者、地域の高齢者

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

きっかけは施設入居の高齢者が、お金を使う機会が少ないことから、施設内に喫茶コーナーを設け、普段の食事や飲食とは違った雰囲気の中で楽しい時間を過ごしてもらうことから始まった。後にデイサービス利用者や地域の高齢者も利用するようになり、施設と地域住民との交流の場となっている。

施設関係者だけでなく、地域住民からのニーズが高い背景には、長年住み続けている高齢者が多い地域にもかかわらず、高齢者が友人・知人と交流をもつ場所が少ないことや、また、町内には集会場という交流の場があるが、バリアフリーになっていなかったり高齢者が使いやすい環境ではないこと、行動範囲の限られる高齢者にとって身近に喫茶店がないことなども要因としてあるのではないかと考える。

当法人では交流の場所を提供し、提供する以上よりよい空間・雰囲気づくりのため喫茶店感覚の憩いの場として余暇活動に役立つ取り組みを行っている。

## 実施内容

週2回（月・木）の10時～12時まで当施設1Fフロアを喫茶コーナーとして、施設入居者・デイサービス利用者・地域住民の方へ開放し飲食をしながら楽しく過ごせる時間・空間を提供している。

運営主体は当法人であり、コーヒー・紅茶・ケーキ・和菓子等を準備し、20名のボランティアが交代で利用者につながる。利用者数は1日平均30名前後、多い時には40～50名の方が利用（飲食代として1人100円で利用して頂いている）しており、その様子はちょっとしたお祭りのような雰囲気でにぎわい、活気にあふれている。

また月1回喫茶閉店後に施設内で昼食を食べることができる日を設定している。喫茶のにぎやかな雰囲気とは異なり、地域の住民が仲間うちで、1つの場所でゆっくりと時間を過ごすことができる。

自立していてデイサービスは利用できないが、行動範囲

が狭く仲間とおしゃべりする場が欲しい地元の高齢者に場所を提供し、また可能な限り自由に当施設を使って頂くことができるようはたらきかけている。

### 活動効果

当事業における地域の方々の反応は以下の通りである。

- 友人・知人と定期的集まる機会ができ、交流のための有効利用ができる。
- 散歩の途中に立ち寄ることができ、気軽にお茶ができる。
- 同地区で新しい顔見知りができる。
- 普段あまり水分摂取がすすまない高齢者が喫茶利用時には飲水量が増えるということもある。

### 今後の課題

地域住民の方の利用は1日に10~15名である。地域に根を下ろすという意味ではもう少し利用者を増やしたい。利用したい方には自由に開放しているが、どの程度ニーズがあるのか把握し、広報活動にも取りくむ必要がある。利用者数が増えれば、今の空間では限界という問題もある。

また現在、地域の方も施設入居の認知症の方も喫茶の時間は同じ空間・時間を過ごしてもらっているが、人が増えれば認知症の方が精神的に落ちつかなくなるという側面もあり、そうなれば地域の方も決して心地よい空間ではなくなる可能性がある。どちらにも心地よい空間を提供していくことが今後の課題であると考えている。

地域住民の方の中には毎日行ってほしいという事もあり、開催日数を増やしたり、メニュー拡大を検討する時期であるが、職員数、ボランティアの確保という面で今のところ困難である。

### 主な経費や財源の内訳（年間あたり）

<主な経費>	<概算額>
お菓子、コーヒー、砂糖、ミルク代	¥353,150
コーヒーメーカー 1台	¥16,863
電動ポット 1台	¥7,980
<合計>	¥377,993

<主な財源>	<概算額>
施設負担額	¥21,893
利用者負担額	¥356,100
<合計>	¥377,993

